

## 分科会報告 ⑦

1. コーディネイター 稲葉 雅子

2. テーマ

**女性が輝く職場環境づくり**

3. 参加者数 6名(欠席1名)

宮城県 1名(欠席1名) 山形県 4名 福島県 1名

4. ディスカッション内容

◇はじめに

参加者の皆さんに、自己紹介を兼ねて、この分科会を選んだ理由を伺いました。すると、参加者の半数の3人が20代、しかも入社または転職して1年以内というフレッシュな皆さんで、残りの3人は仕事も人生もベテランさんという分布でした。フレッシュな皆さんは、業務内容と自分の力量とのバランスに日々悩みつつ前進しているものの、現在の職場環境の中でどのように自分を確立していけばいいのかいつも考えているとのことでした。逆に、ベテランの皆さんは、現代の若手の皆さんの仕事に対する考え方や姿勢についての声を聞きたいとのことでした。

若手の皆さんに「理想の職場環境」ってどんな職場だろう？と質問してみると、「意見を言いやすい・質問しやすい雰囲気がある環境」「やったことのない仕事については、方法だけではなく仕事の目的なども教えてほしい」「マニュアルがあるとよい」などの声があがりました。つまり逆に言うと、「ちょっと意見が言いにくい」「教えてもらえないこともある」「マニュアルがない」ということがあるとのことでした。これに対し、ベテランの皆さんは仕事を始めて20年を超える方ばかりで、「自分たちの頃には、“上司の背中をみて覚えろ”という時代だったわ」「マニュアルそのものがない時代だった」と振り返っていました。このことから、いまの「上司」には、自分が部下だった時代の記憶に縛られて、現代の若者が部下となっている状況に、自分なりのやり方で進めていくしかない人もいるかもしれないという意見もでした。

各自の経験や考えを述べ合うことで、若手チームは普段その立場に立てないベテランチームの気持ちを聞き、ベテランチームは若手チームの悩みや現状を聞くことができました。

◇まとめ

ベテランチームから、たくさんのアドバイスがありました。

「1年目、2年目ではまだ経験が浅く、理解できないことも多いのは確かで、数年たってから初めてわかることや部下をもって初めてわかることもある。だから、いまの時点で、がんばってすべてを理解しようと無理をしなくてもいい」「ゴールはひとそれぞれ違うので、自分なりのゴールを定めることが必要」「上司やお客様にはいろいろな人がいて、相手を変えることは難しい。自分のものの見方を変えたり、考え方を変えたりして、自分を変えるノウハウを持ったほうがいい」「仕事は楽しいことばかりではないし、職場は仕事を遂行する場所であって決して楽しい場所ではないことを理解しよう」「感謝の気持ちをもって仕事をしていこう」

最後に皆さんに感想を聞くと、「月曜日からがんばれます」「いろいろな見方があることがわかりました」「若い人の声が聞けて参考になった」と元気よく答えてくれました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。